

B-1 算数 単元計画

3 学年 算数単元計画

1. 単元名 べつべつに、いっしょに (啓林館)

2. 単元の目標

- ・「まとまりをを考えて解く」思考法のよさが分かり、進んで活用しようとする。 【関心・意欲・態度】
- ・加減と乗法を組み合わせた4要素の問題を、共通の要素に注目してまとめて考えることができる。 【数学的な考え方】
- ・加減と乗法を組み合わせた4要素の問題を、まとまりをを考えて解くことができる。 【表現・処理】
- ・加減と乗法に関して成り立つ性質のもとになる計算の仕方を理解している。 【知識・理解】

この単元で捉えさせる原理・原則

2つの考え方を図、式、言葉で表現すること

3. 単元の指導・評価計画 (総時数 4 時間)

小単元	配時	学習活動	学習活動の分類	教師の働きかけ	評価基準	関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解
本時 加法と乗法の組み合わせ	1	1 つかめる 120円のハンバーガーを3つ、 80円のドリンクを3つ買いました。何円はらえばいいですか。	③	いろいろな考え方で解く方法を考えよう。					
		2 ふかめる ① 自力解決する。 ② 学びあって解決する。 ・ $120 \times 3 = 360$ $80 \times 3 = 240$ $360 + 240 = 600$ A.600円 ・ $120 + 80 = 200$ $200 \times 3 = 600$ A.600円 3 まとめる 「べつべつに考えて解く方法」や「いっしょに考えて解く」方法がある。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵の提示や、分かっていることと尋ねられていることの確認を通して、問題場面が把握できるようにする。 ・ 別の考えを促す、考えを聞きあうなど、子どもの様子を見て助言する。 ・ 考え方の違いに注目できるように、気づいたことなどを板書していく。 					
		① 確認問題をやる。 ② ふりかえりをやる。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を線で囲み、2通りの考え方ができるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加法と乗法を組み合わせた4要素の問題を、まとまりをを考えて解くことができる。 				

加法と乗法の組み合わせ	1	<p>1つかむ</p> <p>おとな4人と子ども4人で、遊園地へ行きます。入場料は、おとなが250円、子どもが150円です。みんなで、何円はらえばいいですか。</p> <p>2つの方法で、解いてみよう。</p> <p>2ふかめる</p> <p>① 自力解決する。</p> <p>② 学びあって解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • $250 \times 4 = 1000$ • $150 \times 4 = 600$ • $1000 + 600 = 1600$ • <u>A.1600円</u> • $250 + 150 = 400$ • $400 \times 4 = 1600$ • <u>A.1600円</u> <p>3まとめる</p> <p>2つの方法で、問題を解くことができたよ。</p> <p>① 確認問題をやる</p> <p>② ふりかえりをやる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 分かっていること、尋ねられていることの確認を通して、問題場面が把握できるようにする。 • かけられる数とかける数を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 既習の考え方を利用して、問題を解こうとしている。 	○
	減法と乗法の組み合わせ	1	<p>1つかむ</p> <p>5人で、電車に乗ります。赤の電車は1人420円、青の電車は1人220円です。5人分の乗り物代のちがいは何円ですか。</p> <p>③</p> <p>いろいろな考え方で説く方法を考えよう。</p> <p>2ふかめる</p> <p>① 自力解決する。</p> <p>② 学び合って解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • $420 \times 5 = 2100$ • $220 \times 5 = 1100$ • $2100 - 1100 = 1000$ • <u>A.1000円</u> • $420 - 220 = 200$ • $200 \times 5 = 1000$ • <u>A.1000円</u> <p>3まとめる</p> <p>ちがいを考えるときにも「べつべつに」考える方法と「いっしょに」考える方法が使えるね。</p> <p>① 確認問題をやる</p> <p>② ふりかえりをやる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 絵の提示や、分かっていること尋ねられていることの確認を通して問題場面が把握できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 減法と乗法を組み合わせた4要素の問題を、共通の要素に注目してまとめて考えることができる。
	1	評価テスト		<ul style="list-style-type: none"> • 加減と乗法に関して成り立つ性質のもとになる計算の仕方を理解している。 	○